

令和7年度

## 池田町立池田小学校 信教「学び創造研究会」開催要項

- 1 期 日 令和7年11月28日（金）  
2 会 場 池田町立池田小学校  
池田町池田3177-1  
3 共同研究者 麻布教育ラボ 村瀬 公胤 先生  
4 日 程

13:00 13:10 13:25 13:40 14:25 14:50 15:30 15:40 16:20 16:30

|        |                 |        |                         |        |                   |        |                           |                 |
|--------|-----------------|--------|-------------------------|--------|-------------------|--------|---------------------------|-----------------|
| 受<br>付 | 開会式<br>(プレイルーム) | 休<br>憩 | 全校授業参観<br>公開授業<br>(各教室) | 休<br>憩 | 授業研究会<br>(プレイルーム) | 休<br>憩 | 村瀬公胤先生<br>講演会<br>(プレイルーム) | 閉会式<br>(プレイルーム) |
|--------|-----------------|--------|-------------------------|--------|-------------------|--------|---------------------------|-----------------|

(1) 受付 13:00～13:10 一般（児童昇降口） 主催者・ご来賓（職員玄関）

(2) 開会式 13:10～13:25 プレイルーム

- ・主催者挨拶 信濃教育会 大日方 貞一 様
- ・来賓挨拶 池田町教育長 山崎 晃 様
- ・研究発表 池田小学校研究主任 滝沢 翔太 教諭
- ・諸連絡

(3) 全校公開授業 13:40～14:25 (各教室)

(4) 授業研究会 14:50～15:30 (プレイルーム)

(5) 講演会 15:40～16:20 (プレイルーム)  
講師：村瀬 公胤 先生

(6) 閉会式 16:20～16:30 (プレイルーム)

- ・主催者挨拶 信濃教育会 大日方 貞一 様
- ・会場校御礼 池田小学校長 工藤 美恵
- ・諸連絡 池田小教頭 川尻 年輝

### 5 その他

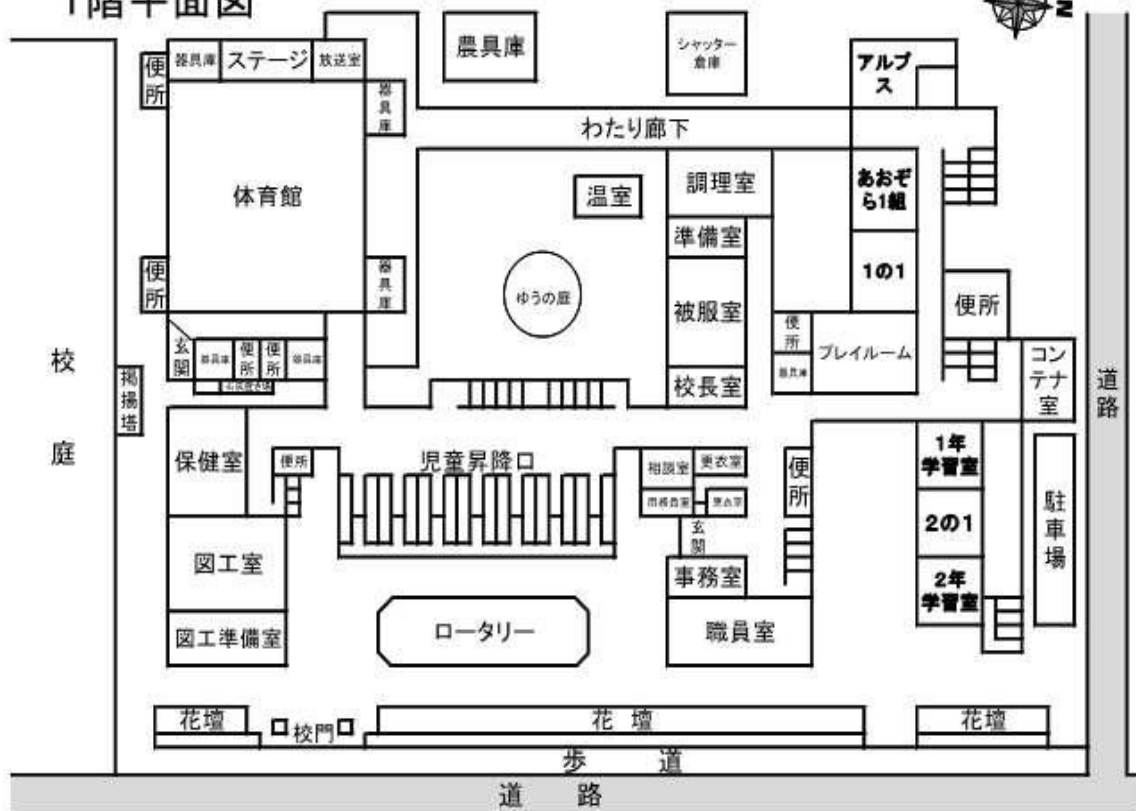
- ・上履きを持参ください。
- ・駐車場は、職員駐車場（砂利）と校庭をご利用ください。
- ・感想用紙は、お帰りの際に受付にお出してください。  
(当日お知らせしますGoogle フォームでも、ご回答いただけます)
- ・ご不明な点がございましたら、本校教頭までお問い合わせください。

池田町立池田小学校  
研究主任 滝沢 翔太  
教頭 川尻 年輝  
TEL(0261)62-2006  
FAX(0261)62-9124

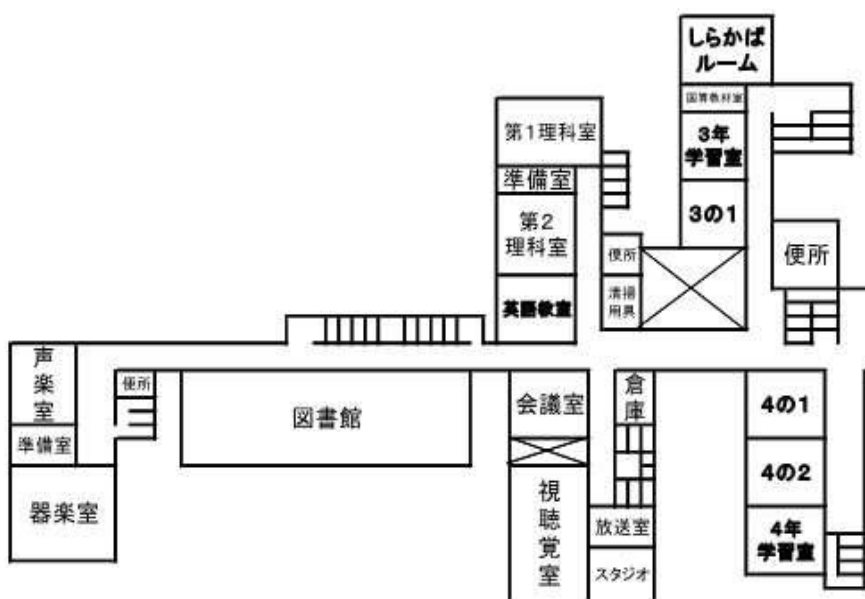


# 令和7年度 池田小学校校舎・教室等配置図

## 1階平面図



## 2階平面図



## 3階平面図



# 「一人も取りこぼさない魅力ある授業づくり」

～多様な学びが生まれる問いづくり～

## 1 研究テーマについて

本校では、教育目標「自ら学び、共に考える子」の理念のもと、「魅力ある学校（ひとりひとりがたからもの）」を合言葉に、協働的な学びと個別最適な学びの一体化を目指した授業実践を通して、自己肯定感と思考力を高め、自ら学び共に考える子どもの育成を目指して取り組んでいます。今年度は、グランドデザインにある本校の教育課題の一つの「学びづくり」において、昨年度に引き続き、「一人も取りこぼさない魅力ある授業づくり」というテーマを据え、協働的な学びをさらに深いものになることを目指し、「ねらい」と「問い」に着目した、研究・実践を行っています。

## 2 研究内容について

1. 多様な学び、主体性を育むことにつながる「問い」～選び、考え、表現する～
2. インクルーシブ教育の推進

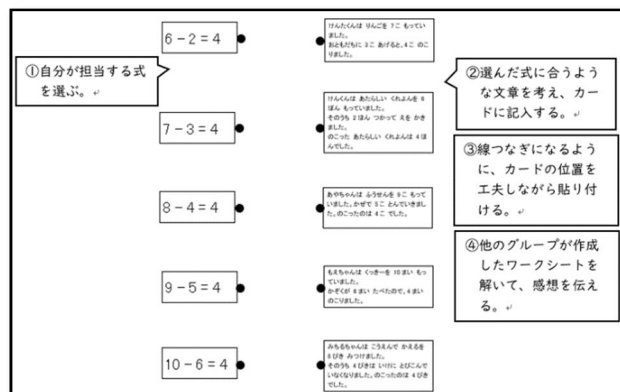
本年度、研究会では以下の2点に重点を設けて研修・研究を積み重ねてきました。

### 2-1. 多様な学び、主体性を育むことにつながる「問い」～選び、考え、表現する～

【麻布教育ラボ所長 村瀬公胤氏による研修】・・・4月、6月

池田町では「信州池田町学びの郷保小中15年プラン」のもと、麻布教育ラボ所長村瀬公胤氏の指導を受け、「選び、考え、表現する」授業の実現を目指しています。本校でもこの学びを実践していくことで、子どもたちの学びに対する主体性の向上や協働的な学びの深まりが生まれると考え、研究と実践を積んできました。昨年度までの実践で、子ども同士の対話を通して学びを進める場面を授業のどこかに位置づける、ということについて意識してきた結果、本校の児童は低学年でも、グループ等で学びを進めていくことについて、抵抗なくできるようになってきました。この姿をふまえ、今年度はさらに子どもたちの学びを主体的なものに、協働的なものにしていくために、「ねらい」と「問い（課題）」を大切にしていくこととしました。そこで注目したのが、「選ぶ」ということです。子どもたちに選択権を与えることで、「考えて選ぶ」「なぜ友だちはそれを選んだのか聞きたくなる」ことから、主体性を高め、協働的な学びを深めることができると考えています。

1学年の算数科「ひきざん」で式と文章の関係を理解することを目指した授業では、子どもたちが主体的に、多様に学ぶ姿を生むことができました。その要



↑ 1学年算数科「ひきざん」の授業イメージ

### 【連学会での「問いづくり」の時間の設定】

[illegible]

## 2-2. インクルーシブ教育の推進

- ①本人が何に困っているのか知る
- ②困っていることをいくつか調整してあげる
- ③「この人と・ここで・これならできる」を積み重ねる
- ④「あの子も頑張っている」ことを全員で共有する
- ⑤「全員が学びたいように学んでいい」と実感させる



### 3 授業公開に向けて～参観してくださる先生方へ～

– 5 –

【授業日】 11月28日（金）

【学年・学級】 1年1組

【授業者】 橋渡 憲明

【教科】 算数

【単元名・題材名】 かたちづくり

## 【本時のねらい】

三角形で構成された図形のシルエットについて、何個の三角形で構成されているか考える場面で、図形に線を引いたり、図形を切ったりしながら活動することで、図形を構成する三角形の数を確認する方法がいくつもあることに気づくことができる。

## 【めあて】

8個の三角形からできている図形はどれか考えよう。

## 【問い】

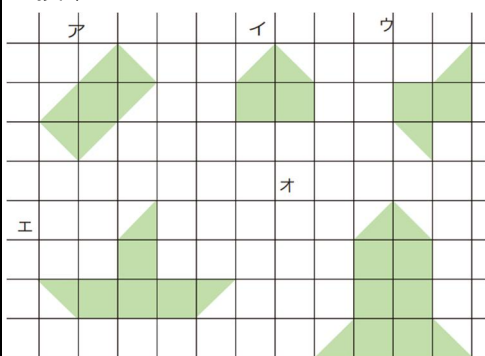
①三角の模型 ②はさみ ③えんぴつ どれを使ったら分かるかな？

## 【子どもたちが自分らしく学べるために心がけていること、資料など】

○グループで問題に取り組む。

○「ヒントカード」を配り、先生にヒントをもらえるようにする。また、助言の数を制限することにより、子どもたち同士の話し合いを活性化させる。

## &lt;授業イメージ&gt;



教) 三角形が8個でできる形はどれでしょう？

教) 使える道具は

①三角形の模型 ②はさみ ③えんぴつ

です。自分の見えそうな道具を選びましょう。

グループで様々な道具を試しながら、数を確認し、どの道具を使ってもその図形を構成する三角形の数が分かることに気づくことができる。

〔評価〕 知・技：道具を正しく使い、その図形を構成する三角形の数を確認することができる。

思判表：友に自分の道具の使い方を紹介したり、説明したりすることができる。

主体的：めあてをもって、自分に合った考え方、学ぶ方法を選び、取り組んでいる。

【授業日】 11月28日（金）

【学年・学級】 2年1組 【授業者】 大上良子

【教科】 音楽 【単元名・題材名】 ようすをおもいうかべよう「こぎつね」第2時

【本時のねらい】 歌えるようになったこぎつねについて1、2、3番それぞれのこぎつねの気持ちを考えながら歌い方を工夫することができる。

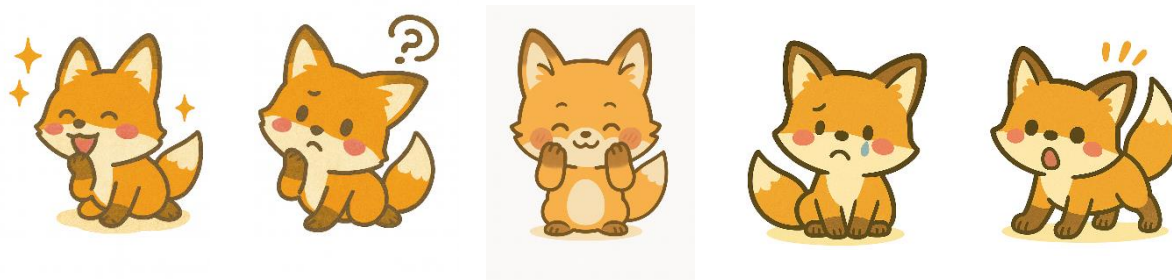
【めあて】 1、2、3番それぞれのこぎつねの気持ちを想像して歌おう。

【問い】 1、2、3番のこぎつねの気持ちにどんなちがいがあがあるのかな。

【子どもたちが自分らしく学べるために心がけていること、資料など】

- ・授業に集中できる教室の雰囲気作づくり。
- ・歌うことや演奏することが楽しくなるような教材を選ぶ。

【気持ちカード】



（知・技）

歌詞の内容や場面を理解し、登場人物の気持ちを想像できている。

（思・判・表）

歌詞の内容と音楽の雰囲気を結びつけて、自分なりの表現を工夫している。

（主体的）

こぎつねの気持ちを想像しながら、自分で気持ちカードを選んで活動に取り組んでいる。

【授業日】 11月28日（金）

【学年・学級】 3年1組 【授業者】 安江 怜

【教科】 算数 【単元名・題材名】 「式と計算」 第1時

## 【本時のねらい】

$a \times c + b \times c$  の問題に取り組む場面で、別々に考えて解く方法とまとまりを考えて解く方法の2通りの考え方がることがわかる。

## 【めあて】

「別々に考える」方法と「1組にして考える」方法の正しい組み合わせを考えよう。

## 【問い】

2つの考え方で、自分にとってわかりやすい方法はどちらかな？

## 【子どもたちが自分らしく学べるために心がけていること、資料など】

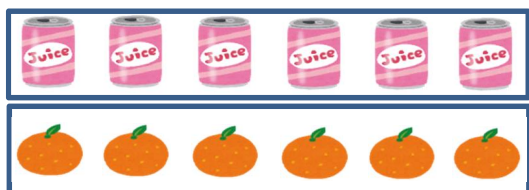
- ・授業のめあてをはっきりさせ、板書する。
- ・自分でじっくり学びたい子、周囲の友だちに相談したい子、様々でよいことを声掛けしている。
- ・つまずきがあった際の助けとなるものを用意しておく。

## 資料

ジュースの代金とみかんの代金を  
べつべつにして考えると…



ジュースとみかんの代金を  
1組にして考えると…



$$\begin{array}{r} 70 \times 6 = 420 \\ 30 \times 6 = 180 \\ 420 + 180 = 600 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 70 + 30 = 100 \\ 100 \times 6 = 600 \end{array} \quad \underline{\quad 6 \quad}$$

〔評価〕 思判表：数量の合計の求め方を、ものの種類ごとに別々に考えたり、組にしてまとめて考えたりしている。

【授業日】 11月28日（金）

【学年・学級】 4年1組

【授業者】 教誓 紘子

【教科】 国語科

【単元名・題材名】 この物語文のミステリーの面白さを探ろう「友情のかべ新聞」 3/8

【本時のねらい】

登場人物の行動や会話文から性格や考え方を読み取り、東君と西君の二人が対比的に描かれていることを読み取ることができる。

【問い】

東君・西君・ぼく だったら、誰と仲良くなれそうか。

【子どもたちが自分らしく学べるために心がけていること、資料など】

○子ども達に分かりやすい言葉で問いを設定する。

○意見交換や相談をしやすい座席、人数にする。

【本時までの主な学習活動】

1/8時 物語文を読み、感想を交流し、学習の見通しをもつ。

（予想される反応）・「今までの物語文とは違い、わくわくするお話だった」

・「二人が何をしたのかが書かれていないので、読んでいくのが楽しかった。」

→ この物語文の面白さを探ろう！

2/8時 時・場所・登場人物の設定を確認し、学習計画を立てる。

（予想される反応）・この物語文は一週間の出来事だ。

・毎日の様子が描かれているから分かりやすい。

→ 物語文の面白さは、一週間の出来事に秘密がありそう・・・。

・場所は、学校での出来事で、『ぼく』の視点で描かれている。

→ 物語文の面白さは、登場人物に秘密がありそう・・・。

・登場人物は、「東君」「西君」「ぼく」「先生」「クラスメート」だ。

・この登場人物が面白いから、物語が面白かったのだと思う。

・「ぼく」の推理があったから面白かったと思う。

→ 物語文の面白さは、「ぼく」の推理の仕方に秘密がありそう・・・。

〔評価〕 思判表：登場人物の行動や会話文から性格や考え方を読み取り、東君と西君の二人が対比的に描かれていることを読み取っている。

【授業日】 11月28日（金）

【学年・学級】 4年2組 【授業者】 永田 勝嗣

【教科】 社会科 【単元名・題材名】 きょう土の伝統・文化と先人たち

【本時のねらい】

池田町の文化財や祭り、郷土芸能、先人などを調べ、池田町の魅力を感じることができる。

【めあて】

池田町のみりよくを発表するための資料を作る。

【問い】

- ①池田八幡神社例大祭 ②七色大カエデ ③相道寺焼き ④交流センターかえで  
⑤岡麓終焉の家 ⑥酒蔵大雪溪酒造 ⑦岡麓 から選んで考えよう。

\*その他、子どもたちから出てきたものを追加する予定

【子どもたちが自分らしく学べるために心がけていること、資料など】

○普段から

- ・仲間の様子を見たり、分からないことを聞いたりするために、自由に席を移動しながら学習を進めてよいこととしている。（2学期から、お友だちに聞き、自分達なりの解決ができるように取り組んでいる。）

○授業では

- ・クロムブックにある『NotebookLM』を使い、生成AIを利用して資料を要約したり、音声解説や動画解説を見たりしながら学習を進める。
- ・『NotebookLM』へ入れるソースは、事前に担任が用意する。（該当ホームページやダウンロードした資料など）
- ・授業中に自分で調べたものを『NotebookLM』のソースとして使いたい場合は、一度担任に見せ、担任がソースとして使用できるか判断する。
- ・発表資料は、『ドキュメント』または『スライド』でまとめる。
- ・まとめ方は自由。クイズ形式でもよい。
- ・選ぶのは1つだけでなくともよい。調べながら増やしていったり、変えたりしてもよい。
- ・前時に上記の6つを示し、自分の調べたいものを選ぶ。その際に、もっと他のものがよい場合は、それを追加する。
- ・魅力となるポイントを紹介できるようにまとめる。

【評価】

○知識・技能

要約された資料から、魅力を伝えるために必要な情報を集め、読み取り、理解しているか。

○思考・判断・表現

発表のためにまとめたドキュメントまたはスライドや、発言内容から、魅力について考え、表現しているか。

○主体的に学習に取り組む態度

要約された資料から、自分自身が魅力を感じながら、他の人に伝えようとしているか。

【授業日】 11月28日（金）

【学年・学級】 5年1組コース別学習

（秀吉コース：5-1 教室、信長コース：5年学習室、家康コース：6年学習室）

【授業者】 滝沢翔太、石田竜馬、高山茂子

【教科】 算数科 【単元名・題材名】 「面積」（三角形、台形、ひし形の面積）

【本時のねらい】

〇〇形の面積を既習の形に変えることで求め、その式の数字を言葉にすることで自分なりの公式を考えることができる。

【めあて】

〇〇形の面積を求めることができる公式を作る。

【問い】

家 康：次の3つの考えで自分にとってわかりやすいのは？（台形の面積）

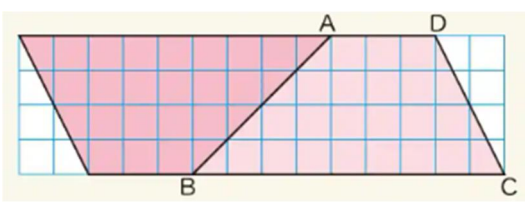
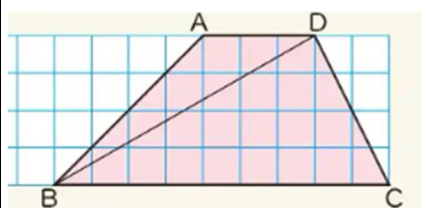
信・秀：〇〇形の面積を求める公式を作ろう。（三角形、台形、ひし形から選択）

【子どもたちが自分らしく学べるために心がけていること、資料など】

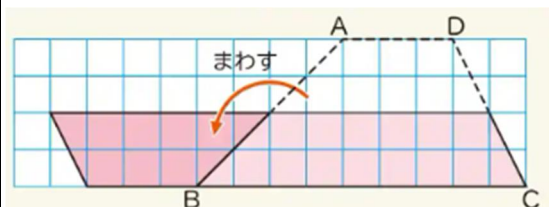
○授業のめあてをはっきりさせ、板書する。 ○意見交換や相談をしやすい座席、人数にする。

○ICT 機器の活用（わかりやすい、見やすい、操作しやすいなど）

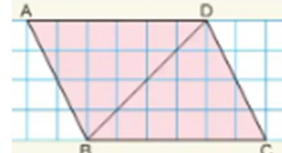
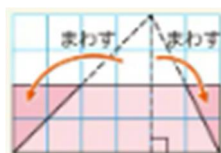
資料



〔家康コース（秀吉・信長コース）〕…台形の選択肢



〔秀吉・信長コース〕…三角形、ひし形の選択肢



【徳川家康コース】

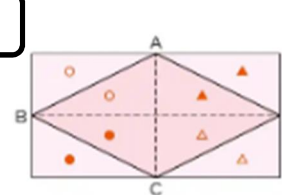
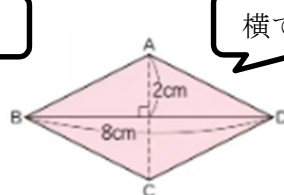
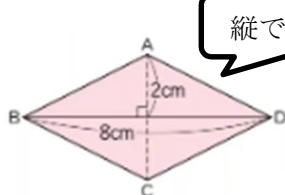
基礎を大切にし、ていねいに進めたい人向け

【豊臣秀吉コース】

基礎から（応用まで）順序よく進めたい人向け

【織田信長コース】

新しい問題、発展問題にガンガン挑戦したい人向け



〔評価〕 知・技：高さを正しく捉え、公式を使って面積を求めることができる。

思判表：既習の形をもとに考えることで、〇〇形の面積を求めたり、言葉を使って公式にしたりしている。

主体的：めあてを持って、自分に合った考え方、学ぶ方法を選び、取り組んでいる。

【授業日】 11 月 28 日（金）

【学年・学級】 6 年 1 組 【授業者】 松原 大也

【教科】 社会 【単元名・題材名】 明治の国づくりを進めた人々 第 3 時

【本時のねらい】 大久保利通らが富国強兵を進めるために行った明治の諸改革について、相互に関連付けて考えることができる。

【めあて】 大久保利通らが、富国強兵のために何をしたかが分かる

【問い】 初代総理大臣になるための演説をしよう！！

【子どもたちが自分らしく学べるために心がけていること、資料など】

○授業のめあてをはっきりさせ、板書する。

○意見交換や相談をしやすい座席、人数にする。

○ICT 機器の活用（わかりやすい、見やすい、操作しやすいなど）

### 資料

資料①「廃藩置県」「殖産興業」「徴兵令」「地租改正」に関する資料



① 廃藩置県後の日本（1871 年末）

#### ● 国の区分けを変える（廃藩置県）

政府は、江戸時代の大名の領地である藩と領民を天皇に返させ（版籍奉還）、全国を府と県に分けました。1871 年末に 3 府 72 県となり、府には府知事、県には県令を派遣して治めさせました。これによって政府の権力が強まり、国の体制が整っていきました。琉球は、1879 年に沖縄県になり、北海道は、開拓使が治めていましたが、1886 年に北海道庁が置かれました。



② 官営富岡製糸場（群馬県） 富岡製糸場

#### ● 工業をさかんにする（殖産興業）

政府は、模範的な製糸場をつくる方針を定めて、フランス人の技師を招きました。富岡製糸場は、1872 年に完成し、全国各地で女子労働者を募集しました。糸織りの機械 300 台が設置された、とても大きな工場で、働いていた女性の日記には次のように記されています。

「富岡製糸場の門の前に来たときは、夢かと思うほどおどろきました。生まれてかられんがづくりの建物など、錦絵で見ただけで、それを目の前に見るのですから、無理もないことです。」



③ 地租改正のための測量の様子

#### ● 国の収入を安定させる（地租改正）

国の収入を安定させるため、これまでは収穫高に応じて米で納めることになっていた税は、それぞれの土地の価額の 3% を現金で納めることになりました。税の重さは、江戸時代と変わらず、不作でも同じ額の税を納めるため、重い負担に苦しむ農民の一揆が各地で発生しました。

資料②演説文のテンプレート

私〇〇は、この日本国を、欧米列強に負けない、強い国にしていくため、

を実行していくのであります！

これを実行する理由は、 つあるのであります！

①

②…

以上のことから、私は、 を全身全霊で実行していく所存であります！！

〔評価〕

知・技：廃藩置県、殖産興業などの用語の意味を理解し、富国強兵に向けた各改革の概要と目的を資料から読み取ることができる。

思判表：富国強兵という目的に対する諸改革の相互の関連性を考察し、最重要と判断した改革について、根拠を示しながら演説文として表現している。

主体的：大久保利通らが富国強兵のために行った諸改革について、意欲的に資料を読み込み、演説文作成に取り組んでいる。